

発行責任者

橋本 健治

〒273-0047 千葉県船橋市藤原1-31-22

TEL 047-337-9557



平成十四年度 関東浪速工業会会長ご挨拶

〔M28〕橋本 健治



今年度も当番幹事白土会幹事の方より推薦を受け、昨年末の総会にて承認を得て先輩(C18)秋月会長より引き継ぐ事となりました。何分にもキャリア不足の私でございますが、各幹事の方々と並びに会員皆様方の協力ご支援を賜り、当会の運営に当たらせて戴きますので宜しくお願い致します。
本会は、会員相互の親睦を図り知識情報の交換を通じ会の発展を図るものとすることを目標に一人でも多くの皆様方に参加して戴けるよう幹事会が計て参ります。
今年度の主な行事予定としては、
一、春の一泊懇親旅行。四月十二日(金)十三日(土)草津温泉。(参加者十六名)
二、ゴルフコンペ。昨年度と同様に春秋一年一回開催とし五月の第三週頃に千葉方面へ実施予定です。秋については後日幹事会にて決定の予定です。
三、夏の見学会は七月二十四日(水)NNTドコモR&Dセンター展示ホールにて行います。(詳細は別掲「見学会の御案内」参照)多数の参加をお願い致します。
四、観劇会並みに演芸会等盛りだくさんの日時等決まり次第御案内申し上げます。
五、Mエースは年に二回(五月、十月)発行致しますが、会員皆様方多数の投稿大いに歓迎。御意見ございましたらお寄せ下さい。

当会の運営費につきましては、既にご承知の如く関東在住会員皆様方の年会費納入の一部還元金で賄っておりますが、残念ながら近年減少の傾向にあり、本部長野理事長よりも会費増収協力の依頼もあり前年度に引き続き会員皆様方の一段の協力をお願いする次第です。
二十一世紀初頭にあたり国内に於ける景気減速の長期化に加え、アメリカに於ける同時多発テロ、それに対するアゴの戦争、泥沼化した中東情勢と不安定な今日ですが、現役で活躍の皆様方並びに既に第二の人生を地域社会で活躍の会員皆様方、何かとお忙しい事と存じますが、この会に参加されまして旧交を暖めて戴ければ幸いです。
最後に会員皆様方の健康を祈念すると共に、当会の事務局として永年に渡り事務の一部を無償提供して戴き当会の為には大変お世話をして戴いております。先輩(旧)笹本氏へ天寿に紙上を借りまして心より感謝とお礼を申し上げます。
益々の繁栄とご健康を祈念し、挨拶とさせていただきます。

キレレ三尊の像

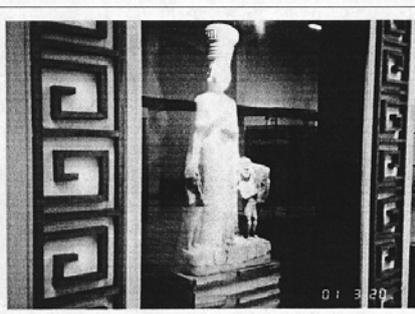


〔A27〕田中 瑛也

トルコ、アナトリア高原に古代ヒタイ王国の遺蹟を求めた旅。遺蹟見学のための予備知識を得るのに、アンカラのアナトリア文明博物館に立ち寄る。その際、田中がキレレ地母神像、際立って目立つ彫像でない

が、大母地神キレレを中央に、左右に築土したがるをいえる。このキレレ像を産んだその当時の統治したフリギア人は、アトリア人の祖先だとの説もあるが、紀元前十二世紀頃千ヶ海沿岸にギリシヤからの移民が入植する期と、前後してフリギア人はヒタイ帝国の主要都市を襲い、やがて壊滅の道に追い込んだ。フリギア国は紀元前八世紀後半には、強大な帝国となつたが、キメラ人の侵入で国家は弱体化し、リディア王国の支配下に入った。
歴史上では、見落とされがちな短期間であったが、文明の交流に果たした功績は大きいフリギアの首都、ゴルティオに築かれた大墳墓に葬られていたミタス王は地母神キレレと一体化、神格化し、ギリシヤの文化圏にフリギアが入ると、ギリシヤ神話にも登場し、楽土がアポロン、パンの神と名を替へ、有名な王の耳は、驢馬の耳の小話を遺した。
王は、ある日、アポロンとハン音楽の力量を競わせた。王は、今の葦笛が、アポロンの箏琴よりも優れるとの断を下した。その判定にアポロンは不満であった。
そこでアポロンは、「王の耳は愚かな耳。その耳は驢馬の耳になれ」と唱えた。
すると、その耳は毛に覆われた驢馬の耳となり、王は、帽子で耳を隠していたが、床屋が見付け、床屋は人々にこのことを伝え、王に約束したが、秘密保持の心情に耐えられず、野に穴を掘り、その穴にむかひて「王の耳は驢馬の耳」と唱えて穴を埋めた。春になって葦が生え、葦は風がふくと「王の耳は驢馬の耳」と囁いた。
他愛のない小話であるが、異国に於て故国を思ひ出す心境、キレレ神像は、仏教の三尊像を想起させる。阿弥陀如来を中央に、観音菩薩、勢至菩薩を左右に従える構図であ

見学会の御案内
例年恒例の見学会を今年も通信業界大手「NNTドコモ」の展示ホールで見学会を計画しました。
小水況と言われている昨今ですが、通信業界においては益々開発が進みより便利な世の中に変化して行くものと思われれます。この世の中の進歩に乗り遅れない様、先端技術の一端をのぞいて頂きます。多数の方々の参加をお待ち致しております。



る。史上、アレキサンダー大王の東征で、ガンダラにギリシヤの造形美をもたらした、仏教との交流に果たした功績は大きい。ユラシヤ大陸の東西、交易という平和手段、混浴という戦時手段により絶え間なく交流し、一体化する。いにしへの教を、一匙は、器つけられども、美味をしようとなきが如し。
キレレ像という小さい像はあるが、心を動かされた自分、他国で故国を思う心境、いにしへの教が説いた「一匙」にあてはならないと願う自分に青春の日々教を授けて戴いた恩師の深い学恩を感じる今日此頃である。

陶芸教室
陶芸会のお誘い
関東青嵐会建築科では、昨年昨年とう度になりに陶芸教室を開催してきました。陶芸家として活躍されている建築科46年卒、柚木氏の指導のもと氏の工房で陶芸の世界を満喫してきました。今回は他科の皆さんからも希望者を募らせていたく事となりました。
開催日時 10月26日(土) 13時より17時30分。終了後懇親会開催
開催場所 国立重国立自由工房
会費 6000円(観覧費含む)
定員 22名(定員になり次第締切)
申込締切 7月20日
申込方法 卒科名、氏名をA37森方信迄、FAX(会報)にて FAX 03-3817-0735
E-mail mothy@nikken.co.jp
(集入場券等詳細は申し込み案内の方に後日案内します)

一泊懇親会

〔C33〕 明見 和彦



平成14年4月12日(金)・翌13日土
草津クラントホテルにて関東浪速工
業会の一泊懇親会が開催された。
昨日の雨も一転し、爽やかな陽春を
迎えた今朝。こんないい日に一泊懇
親会が出来るなんて、と何故か何
時よりも心が弾み若返った気分であ
る。今日はまたどうしようかと、女房
も微笑みの声、実は同期の松本氏と
会える楽しみでいっぱい。私の気持ち
は高一層拍車がかかると「吉 幾三」
『行ってらっしゃい』の声を後にして、意
気揚々とバスに乗車した。一泊懇親
会の行なわれる草津温泉へ心浮き浮
き身も軽く、前橋はもう桜の花も
散ってはいないが田圃や畑を飾るお花
が私を見送る様子。渋川を過ぎ、中
之条から川原へ入ると、ハツ場夕月蘭
系の建設現場がやたらと目に移る。
時折桜の花が咲く山田の風景が見ら
れる。長野原まで来る。桜は満開で
大満足。これは良いぞと草津行きのパ
スに乗り込む。「あ、先輩だ。会った途
端、関東浪速工業会の雰囲気にな
た。この不思議な胸中に思い、草津
温泉ホテルミナラルに到着する。いい
湯だな。汗草津と真ん中、桜がこ
ろか、周りの山々はまた冬景色、何だ

か季節の後戻りを感じさせる。温泉
到着だ、一寸肌寒いが、非常に天気
が良く、気分も一段とよくなる。
総勢16名となり、良き幹事のリー
ドで大宴会の始まり、先輩方のアドバ
イス、母校の良き物語、お互いの近況
ばなし、昔話を花を咲かせながら、お
酒の量もウナギのほり。同期は、先輩
に一目置きながらの名調子、私も負
けずに声張り上げました。改めて母
校が生んだ先輩達の功績を感じ、
我ながら先輩に相乗、誇りと自信を
もちろんと感じ、気分の良い眠りにつ
きました。若き頃の仕事場でもあった
この草津温泉。この場でお酒ばかり飲
み草津大いことが何と解らなかつた。
今日は幹事としての配慮により、ガイ
ド付草津温泉街をそぞろ歩き、貴重な
体験をさせて頂きました。特に東大
寺の大仏の骨木を佛つて作られたとい
う御本尊(釈迦如来像)、日本武尊
をまつる由来ある「白根神社」、御
神木のシヤクナゲ、湯畑や西の河原。
白旗のお湯、千代の湯、地蔵の湯をま
と覗き、今度はゆつくりと是非入り
に来たい所と独り言。今度来る時は
5月にシヤクナゲが一斉に花を咲か
せる頃と、草津温泉感謝祭に幻想的
な女神を見に来る事にしようかな。
取り敢えず心なごま楽しい一泊懇親
会でした。お陰様で草津よいとも
体験し、一泊懇親会が一段と楽しく
終える事になりました。幹事さん改
めてありがとうございます。



は雪が舞う下界とは、これほどの違い
があるものかと寒さを身にしみる。
達峰山を横手にし、視界が60度ま
さに白一色、四季折々に展開する自
然の素晴らしさを感じる事が出来ま
した。これから先は次回だとレストラ
ンハウス直行、200メートルでの
乾杯を味わい、この体験も先輩と友
人のお陰。
母校を想い、語る、関東浪速工業会、
科別にたわりの無先輩、後輩、今
後も宜しく頼むぞと、我に聞かせ白
根山を後にした。大変スライ二日
間の旅だった。
今回の参加者は次の通りです。
M26 上田英雄、M28 橋本健治、A25 西阪 勲
A28 酒井 保、金井 芳信、C9 西谷通晴
C16 太田 清、C18 秋月勝美、C20 榎本 雅信
C33 明見和彦、C33 松本信行、C34 柴田 次
E18 戸部 暢、E18 平野 繁一、E28 井上 健三
E36 馬江 治喜、以 上 計 6 名

先輩からの心ある祝い酒を有り難
く飲み干し、意気投合の多き、次に
目指すは白根山。この時期だから行
ける所まことに決める草津温泉街か
ら天狗山を過ぎロープウェイの山麓
駅、晴天下、眼下に広がる草津高原
の大パノラマ、ロープウェイの空中回
歩がまた格別、10分、一気に500
0メートルの山頂駅。ここから先へは
と又欲張り、取り敢えず銀世界の中、
先のリフト人と周囲を見渡す。この時
すでに空には太陽が無く、「私の肩に

花の雨
〔M18〕 小川 玉泉
鐘の音のかがよふ池の蘆の角
撒く餅に声より群るる残り鴨
東照宮拝殿裏の著莪の花
丹頂の歩み緩やか花の雨
河馬二頭どろどろ浸かる春の池



同期会報告
〔E36〕 馬江 治喜
1995年7月(第1回の会費)を持
てから、毎年、新春と夏に年2回程
度電気科36年卒の関東地区在住者
が集まり情報交換の会を充足した。
その会の名称を電気科のE(1)と36
を冠して「E36会」として開
催し、今迄関西地区より 森田君
正木君も多忙なところ東京まで来
てくれたりして盛大に開催しています。
又昨年10月20日伊豆の富戸へ関西地
区より7名、関東地区より2名、計1
2名の同級生が集まり都工卒業40年
の記念行事を行いました。
そして今年1月19日今回は大阪よ
りの参加者はなかったが、関東地区在
住者11名の内9名が集まりました。
毎回 細川君の御協力により都内の
1等地にある立派な料亭で大変美
味しい日本料理とお酒で安く利用さ
せていただき、そして毎回、大変忙し
も関わらず、この会には殆どの方が快
く出席して戴いていますが、世話役と
して本当にありがたい事と感謝してい
ます。そして、いよいよ今年、我々同期
のものには遠慮を要する事となります。
また会社勤めの人は殆どの方が定年
となり、その後のことを全員で意見を
出し、社会情勢のことを踏まえ、



又健康に付いて等も交えてワイワイ
と話し合いました。今回は関西地区
より転動してきた 岸田君 の歓迎
会も兼ねる予定でありましたがど
うしても都合が着かない為、欠席さ
れたので次回に延期しました。次回
は8月か9月頃に開催する事で別
れました。
出席者 森尾 安哉、石垣 篤治、竹村
健吉、川村 三夫、馬江 治喜

平成14年度関東浪速工業会
各科代表幹事のご紹介

機械科	M34	石川 芳夫
建築科	A57	信原 利行
土木科	C33	松本 信之
電気科	E36	馬江 治喜
工業化学	C134	柴田 孝次

原稿送り先 馬江 治喜
FAX 045-841-8885
E-mail umae@attglobal.net

各科・同期のついで、趣味など
の投稿をお待ちしています。
FAXか電子メールでお送
りください。

訃報

C4年卒	志倉 勝次郎氏
平成13年卒	4月10日逝去
M11年卒	山口 敏政氏
平成13年卒	7月逝去
M11年卒	阪上 五郎氏
平成12年卒	11月30日逝去
C13年卒	西口 杉男氏
平成13年卒	4月7日逝去
A13年卒	鹿山 富士夫氏
平成13年卒	10月3日逝去
M20年卒	松原 雅春氏
平成12年卒	10月逝去
C26年卒	川村 博樹氏
平成12年卒	8月1日逝去
A38年卒	掛谷 兵太郎氏
平成13年卒	11月2日逝去

「冥福をお祈り申し上げます。」